

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	外国語教育推進事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	飯田俊彦		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	01	確かな学力の育成				
事業の目的	英語を母国語とする外国人を活用することにより、言葉と体験をとおしたコミュニケーション能力と英語運用能力を向上させたい。						
事業の概要	小学校・中学校に英語指導助手を派遣する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	26,099		29,625		31,875	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
		小学校における児童一人あたりの授業実施数	時間	19	26	27	27
		中学校における生徒一人あたりの授業実施数	時間	21	26	26	26
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	小学校・中学校に英語指導助手を派遣し、授業を実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	非常勤講師活用事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	橋本宜之		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	01	確かな学力の育成				
事業の目的	児童生徒の習熟度の向上及び学校生活の充足。 児童生徒の自ら学ぶ意欲の向上。						
事業の概要	市内小中学校に市採用非常勤講師を配置し、子どもたちの豊かな学校生活のために、個に応じた生活の支援を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	95,368		108,915		113,289	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
		非常勤講師配置校数	校	8/8	8	8	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	市内小中学校に市採用非常勤講師を配置し、子どもたちの豊かな学校生活のために、個に応じた生活の支援を行い、児童生徒の習熟度の向上及び学校生活の充足に寄与した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	地域の獣医師との連携を図った体験活動推進事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	教育委員会 学校教育課		担当者	田代浩貴			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	01	確かな学力の育成				
事業の目的	ふれあい教室を実施することにより、児童の小動物への関心を高め、飼育についての正しい知識を備えさせる。						
事業の概要	生命尊重の涵養等、児童の道徳性を高めること、また学校と地域獣医師とのネットワークを確立し、学校飼育動物について学校が相談できる体制をつくる。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	361		235		260	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
		ふれあい教室参加児童数（2年生で実施）	人	444	420	444	444
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	ふれあい教室を実施し、児童の小動物への関心を高め、飼育についての正しい知識を備えさせることができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	小学校情報教育推進事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 学校教育課		担当者	永井聡行			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	01	確かな学力の育成				
事業の目的	児童の情報活用能力の育成、校務のICT化による教職員の負担軽減。						
事業の概要	小学校に係るICT機器の整備、運用管理						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	74,079		90,224		94,132	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	活動	教育用コンピュータ1台当たりの児童数	台	6.3	6.1	6.1	3.6
	活動	普通教室の無線LAN整備率	%	53.8	53.8	53.8	100.0
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	閣議決定された第3期教育振興基本計画で国の測定指標が定められたため、指標を変更。一部指標で全国の平均値を上回ったため。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	中学校情報教育推進事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 学校教育課		担当者	永井聡行			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	01	確かな学力の育成				
事業の目的	生徒の情報活用能力の育成、校務のICT化による教職員の負担軽減。						
事業の概要	中学校に係るICT機器の整備、運用管理						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	20,613		29,029		30,087	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	活動	教育用コンピュータ1台当たりの生徒数	台	7.9	4.4	4.4	2.9
	活動	普通教室の無線LAN整備率	%	62.2	62.2	62.2	100
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	閣議決定された第3期教育振興基本計画で国の測定指標が定められたため、指標を変更。一部指標で全国の平均値を上回ったため。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	小中学校総合学力調査事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	飯田俊彦		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	01	確かな学力の育成				
事業の目的	児童生徒の学力・学習状況を客観的に把握し、その結果を基に指導法の改善等に生かし、より効果的に学力向上を図りたい。						
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・小：国・算・学習意欲と生活様式の調査 ・中：国・数・学習意欲と生活様式の調査 						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	144		136		147	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
		調査結果を分析し授業改善等に生かしている学校の割合	%	100	100	100	100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	全ての学校で児童生徒の学力・学習状況を調査し、教育施策及び学校・学級・教科指導の計画に生かすことができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	市立中学校国際交流事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	橋本宜之		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	01	確かな学力の育成				
事業の目的	生徒の国際的視野の拡大を図る 外国人と直接対話する経験を通じて、語学への関心を高める						
事業の概要	さくら市の2つの中学校に在籍する生徒から、オーストラリア派遣団(20名)、アメリカ派遣団(20名)を選考し、現地学校との交流やホームステイを行なう。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	9,854		5,250		6,300	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
		オーストラリア派遣により成果を得た団員数	人	20	20	0	20
		アメリカ派遣により成果を得た団員数	人	19	0	20	0
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	さくら市の2つの中学校に在籍する生徒から、オーストラリア派遣団(20名)、を選考し、現地学校との交流やホームステイを行い、生徒の国際的視野の拡大を図ることができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市給付型奨学金事業			事業開始年度	平成28年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	大澤潤一		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	01	確かな学力の育成				
事業の目的	優秀な成績で大学を志望するも、金銭面が原因で進学ができない者へ、入学金相当額の給付をすることにより一人でも多くの優秀な人材を育成するため。						
事業の概要	さくら市給付型奨学金を希望する者から給付者を決定する選考委員会を開催する。該当者の決定に当たっては当該制度要件を満たす者を決定し選考する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	282		562		1,500	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	活動	給付人数	人	1	2	3	4
			人				
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	3名の支給を決定したが、1名辞退があったため。 PR方法、給付要件の見直しも検討する。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	小学校教育振興事業			事業開始年度	平成30年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	橋本宜之		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	01	確かな学力の育成				
事業の目的	学校生活、授業、行事等の中で多彩な活動を引き出し、児童の学習意欲を高める。						
事業の概要	小学校の総合的な学習において、地域外部講師による書写及び各種指導を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		14,497		15,562	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
		日常生活においても興味関心や気づきが増した児童数	人		2,597	2,581	2,581
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	小学校の総合的な学習において、地域外部講師による書写及び各種指導を実施し、普段の生活において、興味関心や意欲が高まった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	中学校教育振興事業		事業開始年度	平成30年度			
担当課	教育委員会 学校教育課		担当者	橋本宜之			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	01	確かな学力の育成				
事業の目的	学校生活、授業、行事等の中で多彩な活動を引き出し、生徒の学習意欲を高める。						
事業の概要	中学校の授業において、地域外部講師による書写及び各種指導を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度	30年度	元年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	0	9,328	10,700			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
		日常生活の中においても興味関心や気づきが増した生徒数	人		1,234	1,238	1,238
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	中学校の授業において、地域外部講師による書写及び各種指導を行い、生徒の学習意欲を高めることができた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	児童生徒健康管理事業			事業開始年度	平成20年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	田代浩貴		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	02	豊かな心と健やかな体の育成				
事業の目的	疾病の早期発見及び予防を図る。 疾病があった場合は治療勧告並びに事後指導を行う。						
事業の概要	学校保健法の規定に基づく児童生徒への健康診断及び健康管理に関する事務を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	7,684		7,545		7,913	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
		2次検診受診・事後指導等実施者数	人(延)	153	207	170	170
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	学校保健法の規定に基づく児童生徒への健康診断を実施し、疾病の早期発見及び予防を図ることができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	小中学校特別活動補助事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	大澤潤一		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	02	豊かな心と健やかな体の育成				
事業の目的	体育・文化活動に参加する児童生徒が増加する						
事業の概要	市立小学校6校、市立中学校2校が、児童・生徒の体育、文化活動を通し、体力の伸長・充実並びに情操の高揚を図るための活動に対して補助を行う						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	11,519		11,886		11,238	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	児童一人当たりの補助金額	円	1,232	1,246	1,246	1,246
	成果	生徒一人当たりの補助金額	円	4,720	6,482	6,482	6,482
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	市立小学校6校、市立中学校2校が、児童・生徒の体育、文化活動を通し、体力の伸長・充実並びに情操の効用を図るための活動に対して補助を行うことができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	就学時心臓検診充実強化事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	教育委員会 学校教育課		担当者	橋本宜之			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	02	豊かな心と健やかな体の育成				
事業の目的	心臓疾患の早期発見及び治療勧告を行う。						
事業の概要	学校保健安全法及び栃木県就学時心臓検診実施要項に基づき、小学校1年生に関する心臓検診を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,142		1,064		1,348	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
		2次検診受診者数	人	14	13	13	13
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	学校保健安全法及び栃木県就学時心臓検診実施要項に基づき、小学校1年生に関する心臓検診を実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	マイチャレンジ推進事業(氏中)			事業開始年度	平成26年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	橋本宜之		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	02	豊かな心と健やかな体の育成				
事業の目的	心の教育の一環として地域の方と関わることにより社会の一員としての個々の構えを学ぶ。						
事業の概要	中学2年生が様々な職種において職場体験活動を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	377		0		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
		職場体験により成長したと実感できた生徒数	人	363	330	304	304
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	中学2年生が様々な職種において職場体験活動を行い、社会の一員としての成長を感じることができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	スクールカウンセラー活用事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	五月女康弘		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	02	豊かな心と健やかな体の育成				
事業の目的	特に配慮が必要な児童生徒が安定した学校生活を送れるようにする。 また、悩みがある保護者のカウンセリングを実施する。						
事業の概要	県費及び市費で小中学校8校に対し、4人のスクールカウンセラーを派遣している。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	5,562		8,520		9,368	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
		カウンセリング派遣回数	回	177	240	240	240
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	特に配慮が必要な児童生徒が安定した学校生活を送れるようにすることができた。 また、悩みがある保護者のカウンセリングを実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	マイチャレンジ推進事業(喜中)			事業開始年度	平成26年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	橋本宜之		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	02	豊かな心と健やかな体の育成				
事業の目的	心の教育の一環として地域の方と関わることにより社会の一員としての個々の構えを学ぶ。						
事業の概要	様々な職種において職場体験活動を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	185		0		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
		職場体験により成長したと実感できた生徒数	人	69	67	78	78
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	中学2年生が様々な職種において職場体験活動を行い、社会の一員としての成長を感じることができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	給食センター管理運営事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	金井伸夫		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	02	豊かな心と健やかな体の育成				
事業の目的	安心・安全でおいしい栄養バランスのとれた給食を供給する。						
事業の概要	昭和43年度より喜連川地区小中学校給食を開始、平成12年度に現施設に更新しており所長、栄養士『県職』、調理師、調理員、臨時職員（調理員・配送員）で、管理運営。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	37,574		41,360		49,707	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	給食に関する事故等件数 0件	%	0	0		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明						
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	学級経営基盤整備事業			事業開始年度	平成21年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	橋本宜之		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	02	豊かな心と健やかな体の育成				
事業の目的	調査を実施し、その結果をもとに学級経営を見直し、児童生徒の心理状態を確認しながら児童生徒の問題行動を未然に防ぐ。						
事業の概要	いじめ・不登校の未然防止等のため、学校における学級集団アセスメントを把握するための検査(Q-U検査)を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	618		627		667	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
		Q-U調査を活用して学級運営をしている学級割合	%	100	100	100	100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	調査を実施し、その結果をもとに学級経営を見直し、児童生徒の心理状態を確認しながら児童生徒の問題行動を未然に防ぐことができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	適応支援教室運営事業			事業開始年度	平成22年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	五月女康弘		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	02	豊かな心と健やかな体の育成				
事業の目的	不登校児童生徒等が、将来の社会的な自立に向けてエネルギーを養うことができる。						
事業の概要	教室に教育相談員を配置し、個に応じた支援を行うことにより心を安定させる。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	6,384		6,730		7,417	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
		適応指導教室通級児童生徒数	人	5	16	16	16
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	不登校児童生徒等が、将来の社会的な自立に向けてエネルギーを養うことができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	学校給食管理事業			事業開始年度	平成30年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	古澤篤		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	02	豊かな心と健やかな体の育成				
事業の目的	調理業務委託、学校給食施設整備、調理備品等の適正管理を行い、安定して学校給食を提供することを目的とする。						
事業の概要	調理業務委託、給食備品、消耗品の購入、給食施設整備点検、清掃、細菌検査等を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		107,967		106,118	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	事故等により給食が提供できなかった件数（小学校）	%		0	0	0
	成果	事故等により給食が提供できなかった件数（中学校）	%		0	0	0
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明						
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	小学校施設補修整備事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 学校教育課		担当者	笹沼 修作			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	03	安全・安心な教育環境の実現				
事業の目的	小学校施設及び設備を、指導上、保健衛生上、安全上及び管理上適切な状態に維持する。						
事業の概要	各小学校施設及び設備の補修や整備。 現地調査・ヒアリングを行い、緊急度や重要度に応じて実施。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	11,181		29,929		12,499	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	要望対応率	%	100	100	100	100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明						
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	中学校施設補修整備事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 学校教育課		担当者	笹沼修作			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	03	安全・安心な教育環境の実現				
事業の目的	中学校施設及び設備を、指導上、保健衛生上、安全上及び管理上適切な状態に維持する。						
事業の概要	各中学校施設及び設備の補修や整備。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	27,783		3,960		5,533	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	要望対応率	%	100	100	100	100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明						
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	小学校施設長寿命化改良事業			事業開始年度	平成29年度		
担当課	教育委員会 学校教育課		担当者	笹沼修作			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	03	安全・安心な教育環境の実現				
事業の目的	財政負担が膨れる恐れがあるため、学校施設の老朽化対策、教育環境の質的改善、環境対策を併せて実施し、財政支出の削減と平準化を図る。						
事業の概要	さくら市学校施設長寿命化計画を基に非構造部材老朽化調査、外壁調査等を行い各施設の予防保全、再生整備を行う。学校施設長寿命化改良工事を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	9,202		0		1,969	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	長寿命化改良を行った小学校建物数の割合	%	0	0	0	5
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明						
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	中学校施設長寿命化改良事業			事業開始年度	平成29年度		
担当課	教育委員会 学校教育課		担当者	笹沼修作			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	03	安全・安心な教育環境の実現				
事業の目的	財政負担が膨れる恐れがあるため、学校施設の老朽化対策、教育環境の質的改善、環境対策を併せて実施し、財政支出の削減と平準化を図る。						
事業の概要	さくら市学校施設長寿命化計画を基に非構造部材老朽化調査、外壁調査等を行い各施設の予防保全・再生整備を行う。学校施設の長寿命化改良工事を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	12,755		241,674		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	長寿命化改良を行った中学校建物数の割合	%	0	8	8	8
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	計画通りに業務を行った。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	コミュニティ・スクール活用事業			事業開始年度	平成30年度		
担当課	教育委員会 学校教育課		担当者	五月女康弘			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	03	安全・安心な教育環境の実現				
事業の目的	保護者や地域が学校の様々な課題解決に参画し、それぞれの立場で主体的に子供たちの成長を支えていく。						
事業の概要	保護者や地域住民が学校運営に参画する学校運営協議会制度の導入により、地域の力を学校運営に生かす地域とともにある学校づくりを推進する						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		204		594	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
		会議の開催回数	回		6	6	6
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	氏家小学校、熟田小学校で学校運営協議会を設立した					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	上松山小学校増設事業			事業開始年度	平成30年度		
担当課	教育委員会 学校教育課		担当者	笹沼 修作			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	03	安全・安心な教育環境の実現				
事業の目的	上松山小学校校舎増設						
事業の概要	校舎増設に係る実施設計業務及び建築・電気・機械設備工事						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		14,122		324,352	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	活動	当該年度業務・工事の出来高	%		100	100	0
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	次年度予定の増設工事実施設計業務。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市斎藤奨学金事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	大澤潤一		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	貸付により経済的理由で進学を断念する子供を支援することで教育機会の拡大を図る。						
事業の概要	希望者から貸付者を決定する選考会を開催する。 その際の選考委員への報酬を支払う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	6		6		7	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
		希望者に対する貸付率	%	100	100	100	100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	奨学金希望者の選考を行い、貸付を行った。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	学校評議員制度推進事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	飯田俊彦		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	保護者や地域住民等の意向を把握し学校運営に反映させながら、地域や社会に開かれた学校づくりを一層推進し、特色ある教育活動を展開できるようにすることを目的とする。						
事業の概要	学校評議員は、校長が行う学校運営に関して、校長の求めに応じて、それぞれの責任において意見を述べる。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	219		224		186	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
		会議の開催回数	回	16	16	12	12
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	保護者や地域住民等の意向を把握し学校運営に反映させながら、地域や社会に開かれた学校づくりを一層推進し、特色ある教育活動を展開できるようにすることができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		